

2020年度
学校だより
第3号

しもね

牛久市立下根中学校
令和2年5月13日
文責 校長 本橋和久

臨時休校中の課題確認日 ～ 5月11日(月)・12日(火)



課題確認日を実施しました。学級を2つに分割して午前・午後に来校した生徒たちは、約1か月振りに教室で友だちや担任との時間を過ごしました。課題プリントの提出、次の課題やワークブック等の配付、担任との個別面談など、盛りだくさんの1時間でした。マスク越しに友だちと言葉を交わす表情やはずむ声が一時的に教室に戻ってきました。提出された課題からは、生徒の皆さんが課題に向き合い、試行錯誤しながら進めてきた跡が見られました。理科の課題では、地域の植物観察の記録が克明に記されているものもありました。個別面談で担任と話をしたことで少しでも不安や重圧が軽くなったでしょうか。下根中は来校する日に限らずいつでも相談窓口を開いています。何か相談ごとがありましたら電話などで学校にご連絡ください。

休校中の課題の本質は「自分の課題を見つけること」

「テストは学びのカルテ」と言った教育学者がいます。テストでは、できた問題よりできなかった問題が大事。なぜならそれが自分のこれから学ぶべき内容（弱点・課題＝学びのカルテ）だからです。休校中の課題も同じです。自分で向き合ってみて「ここはどうするのかな？」と思うところを見つけることが家庭学習のねらいです。学ぶ価値はわからないこと、納得できないこと、自信のないことにこそあります。それらをたくさん見つけ、線を引いたり「？」を書き込んだりしておいてください。それが「学びのカルテ」になります。このことは授業が再開されてからも同じです。1人でできることには新しい学びはありません。「わからないこと」「未知のこと」をたくさん見つけ、それについて友だちと共にとことん考え抜く。それが学ぶことの本質です。ですから、休校中の家庭学習でも1人で課題をクリアできないからといって悩むことはありません。どれだけたくさん「？」を記入できたかが家庭学習の成果です。

平常日課が戻ったら、仲間とともに片端から「？」を「納得」に変えていけばよい。どうか楽な気持ちで家庭学習に取り組んでください。また、時間的にゆとりがある今は本を読んで教養



これってどういうことかな…。
とりあえず？をつけておこう。

を深め視野を広げるチャンスでもあります。



保健室前に咲いた芍薬